

【対馬市観光振興推進計画策定業務／市民ワークショップ議事録】

日 時／令和 8 年 1 0 月 2 日（金） 1 8：3 0—2 0：3 0

場 所／対馬市交流センター 3 階 第 1・2・3 会議室

参加者／1 4 名

■下記の通り市民ワークショップを開催した。

①開会挨拶

対馬市観光推進部観光交流商工課の梅野補佐より開会挨拶を行った。

②「近年の観光動向と対馬の観光の現状」に関する説明

全国・世界の観光トレンド、対馬における観光の動向、対馬市観光振興推進計画及び市民ワークショップの目的について、受託事業者であるルーツ・アンド・パートナーズ佐藤より説明を行った。

③「市民ワークショップ」に関する説明

市民ワークショップの開催趣旨、進め方、ワーキングの内容について、受託事業者であるルーツ・アンド・パートナーズ佐藤より説明を行った。

④「対馬観光の課題や特徴」「対馬観光の目指したい姿」に関するワークショップ

「対馬の観光における特徴や課題」「対馬の観光における目指したい姿」について、グループごとに分かれてワークショップ形式で意見の抽出・共有を行った。

⑤グループワークの発表・まとめ

④のグループワークで話し合った内容について、グループごとに発表を行った。

⑥閉会挨拶

対馬市観光推進部観光交流商工課の築城課長より閉会挨拶を行った。

※ワークショップ結果については、別紙参照



開会挨拶



観光のトレンド・ワークショップの説明



ワークショップ全体の様子



グループワークの様子



グループワークの様子



ワークショップ発表の様子

(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

歴史、自然、ツシマヤマネコ、食文化など

◎国境の島

- ・韓国語と日本語の融合

◎歴史の島

- ・殿様歴代の墓がある
- ・対馬の歴史＝日本の外交史
- ・文化財が豊富すぎる

◎自然が豊かな島

- ・すっぴんの島、素朴さ
(浅茅湾や高山植物など)
- ・浅茅湾の美しさ
- ・手付かずの自然
- ・水が美味しい島

◎ヤマネコの島

- ・全島にツシマヤマネコが生息
- ・ヤマネコ目当てで移住者増加

◎対馬の特有の食文化

- ・唯一無二の食文化が今も日常にある
(対州そば、ろくべえ)

◎島民のおもてなし精神

- ・「どこから来た？」と交流

◎豊富な観光コンテンツ

◎観光地を一人占め

(対馬の観光の課題、困っていること)

観光意識の欠如に関する意見が多い

◎2次交通

- ・車がないと移動できない
- ・2次交通が弱すぎる

◎観光意識の欠如

- ・島民のおもてなしの心の不足
- ・玄関口の港に花がない
- ・一部の島民の低いモラルに観光客が引っ張られる
- ・島民の観光意識の不足
- ・行政の観光意識の不足

◎歴史の活用の不足

- ・文化財保護の予算が足りない
- ・対馬の歴史を島民が知らない

◎人口減少を回避する関係人口増加の議論がされていない

◎ろくべえの継承

- ・ろくべえの継承者の不足
(70代でも作れない)
- ・工場生産試みたが断念

◎PR・ブランドの不足

- ・「対馬はこれ！」と言い切れるブランド構築が難しい
- ・キャッチフレーズがバラバラ

◎コンテンツの活用不足

- ・浅茅湾を楽しむ体験が少ない
- ・ツシマヤマネコを観光に行かせていない

◎韓国のバス団体に囲まれる

◎対馬の集落・暮らしの魅力が知られていない

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

生活観光・地域周遊促進、関係人口の増加など

◎島内の2次交通

- ・免許を持たない観光客も島内周遊できるようになる

◎島民おもてなしの向上

- ・島民が対馬を紹介している島民総ガイド化

◎生活観光の推進・アピール

- ・生活そのものが観光資源
- ・対馬の当たり前＝観光にとっての非日常（志多留の石垣に咲く花も観光資源）

◎観光周遊・モデルコース化

- ・全島ショールーム化／各地区の特色を出して体験・購入
- ・コンテンツを連携してコース化

◎関係人口・観光人口の増加

- ・人口減少をカバーする関係人口の増加
- ・関係人口40%、観光人口60%を目指す

◎夜の観光開発（劇場など）

◎盆踊り・地蔵盆のアピール

◎魚釣り客を増やす

◎ロープウェイを有明山に整備

◎IRの推進（佐世保のおこぼれをもらう）

(目指す観光に向けて必要なこと)

目指したい対馬観光の姿を実現するための取組み

◎デマンド交通（将来的にはドローンタクシーを導入）

◎IRの協議会に各市町が参加

◎ふるさと教育（子供）と生涯学習（親世代）

◎住んでいる地区の特色を見つけて伸ばす

◎全島観光プロデューサー（観光DMO）の設置

◎観光商品を卸屋にセール

◎観光のルールづくり



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

蛍の鑑賞や島民のおもてなし、半井桃水館など

◎蛍の鑑賞

- ・鶏知で3箇所、厳原では万松院付近で見れる
- ・厳原では街中で見れる
- ・蛍がみれて癒しになる
- ・アキマドホテルは今が見頃

◎半井桃水館

- ・樋口一葉ゆかりの地
- ・韓国との貿易の歴史

◎島民のおもてなし

- ・住民の優しさがある。その地域を観光客が好きになる
- ・対馬の人の優しさ・おもてなし
- ・万松院に来る観光客に傘を無償で提供している
- ・道路の横断中の対応

◎有明山の登山

◎海外の働き手の増加

(対馬の観光の課題、困っていること)

蛍や水産資源などの自然環境、道路清掃など

◎蛍の生息環境の改善

- ・草刈やコンクリート護岸が課題
- ・万松院の川に蛍を飛ばしたい

◎水産資源の減少

- ・魚が減っている(海藻類、鮑)
- ・マグロが増えると養殖漁の方が困る

◎道路清掃ボランティア継続

- ・道路の両側の枯れ木や大きな泥石の片付け。環境維持
- ・ボランティア一人だと行政支援が受けられない

◎対馬のおもてなし力の接客への活用

◎有明山アクセス(国有林)

◎高校卒業後の若手人材の居場所の不足(大学など)

◎対馬の若手の郷土に対する知識不足

◎渡海船の存続の危機

◎マリンレジャー・山登りのガイドラインの不足



（5年後に目指したい対馬観光の姿）

おもてなし、人材確保、韓国との交流促進など

◎おもてなし溢れる観光地

- ・対馬の人の優しさが届く観光
- ・挨拶したら返される対馬
(バスの席や荷物など)

◎人材の確保

- ・若者の定住・事業に関わる
人が増える対馬

◎韓国とのビジネスチャンス

- ・安い海外旅行。チェジュ島は
高い国内旅行。魚が美味しい

◎地元の人が郷土のことを 知っている対馬

◎蛍が生息できる環境づくり

◎有明山の活用

◎小さな展望場所がある対馬

◎歩いて楽しめる道がある対馬

（目指す観光に向けて必要なこと）

有明山の活用、展望場所の確保に関する意見が多い

◎有明山の活用

- ・国有林の作業。道路を観光客も
行けるようにする
- ・有明山のトレイルラン機能
- ・サイパンのジープツアー
- ・国有林を通る課題の解決
- ・山火事の際の防災道路、ぐるっ
と回る観光地にも

◎展望場所の確保

- ・安神の交差点の島々の岬（魏志
倭人伝で描かれた姿が見れる）
- ・浅茅湾が見れる飯盛山の整備
- ・眺めがいいところの伐採

◎観光人材・環境づくり

- ・観光客の増加に伴う民泊の推進
- ・若者の定住・事業の促進

◎韓国の生活者・消費者への 理解・マーケティング

◎接客業向けの研修会の開催

◎マリンレジャー・山登りの ガイドラインの整備

(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

歴史や山、蜜蜂、花など多岐にわたる

◎対馬の歴史

- ・国書偽造
- ・生類憐れみの令の最中の猪全滅
- ・神社が多い

◎山

- ・山から見る海
- ・城山

◎ニホンミツバチ

- ・ニホンミツバチだけは唯一
- ・ハチ洞

◎対馬の花

- ・ウミテラシ、ヒトツバタゴ、なんじゃもんじゃなど

◎ツシマヤマネコ

◎魚の種類は全国トップ？

◎厳原はコンパクトな観光

◎白が有名（花、石、石灰岩）

(対馬の観光の課題、困っていること)

韓国人観光客、2次交通に関する意見が多い

◎韓国人観光客の多さ・マナー

- ・多すぎる韓国人
- ・特に上対馬。買い物に困る
- ・自転車が下手くそ
- ・飲食店が利用できない
- ・車の運転もルールが違う

◎対馬の観光人材の不足

- ・対馬の人が魅力を知らない
- ・働く人、語れる人の不足

◎2次交通

- ・車の免許がないと困る
- ・移動手段が少ない
- ・バスは南北に走っているが、観光地までの枝線が少ない
- ・レンタカー頼りの観光

◎雨天時の楽しみ方の不足

景勝地や体験以外の楽しみ方

◎荒廃インフラ

道路、受入施設

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

観光客の適正化・バランスに関する意見が多い

◎対馬観光のブランド

- ・観光のシンボルの創出
- ・対馬といえばこれ！みたいなブランドの創出

◎ジェットフォイルの増便

- ・ジェットフォイル2便、フェリー2便、飛行機5便
- ・本来の便数になって欲しい

◎店舗・サービスの継続

- ・お店が減っていない
- ・これからは続けていく人が少なくなる(商店、飲食店)

◎観光客の適正化

- ・観光客の密度
- ・適正指標の導入

◎日本人観光客の増加

- ・日本人観光客の増加
- ・日本人の受け入れができる余裕

◎外国人観光客の増加

- ・ワールドワイド
- ・欧米の人ほど対馬刺さりやすい(深く学びたい、知りたい人)

◎おもてなしできる受け手

(目指す観光に向けて必要なこと)

積極的なPR、観光財源、観光コンテンツづくりなど

◎プロモーション

- ・全世界へのPR
- ・マンインクラフト

◎観光財源の確保

- ・宿泊税の導入
- ・宿泊税を払うメリットも
- ・税込アップからインフラ整備

◎観光コンテンツの造成

- ・強力な観光コンテンツづくり
- ・濡れてもいいコンテンツづくり

◎本物の資源

自然、生き物、歴史、食など

◎観光のルール・基準づくり

◎キーワード白推し



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

豊かな自然や歴史に対する意見が多い

◎豊かな自然環境

- ・海・山などの自然がある
- ・そばの花が咲いている
- ・桜の木が並んでいる。道が長い
- ・季節ごとに自然を楽しめる
- ・鳥が低いところを飛んでいる
- ・小鳥の声で目が覚める
- ・海が透き通っている
- ・海の匂いがする
- ・波の音が大きい
- ・風が強い
- ・星がたくさん見える
- ・蛍、漁火
- ・蛍がいる
- ・山を越えるのが当たり前
- ・ゴキブリがいる

◎レトロな商店街

- ・国内に少なくなった商店街、川端商店街
- ・町に人間臭さがある商店街

◎国境の島

- ・韓国が近い
- ・韓国が見える
- ・今も続く交流の歴史

◎対馬の歴史

- ・歴史が深い
- ・歴史的史跡の中に生活がある
- ・国境・大陸に一番近い城下町

◎田舎らしさ

- ・何もないのが良い
- ・信号が少ない
- ・物々交換が残っている

◎恐ろしどころなどの言い伝え

◎地震が少ない

◎食べ物が多様

◎なんでもできる人が多い

(対馬の観光の課題、困っていること)

様々なテーマについて多岐に渡る意見

◎商品・サービスの安定供給

- ・食材の安定供給ができない
- ・生活自体が魅力のため、商品化やサービスの安定提供が少ない
- ・生産者の高齢化、生産者不足
- ・人脈が大切なため、モノを探すのが難しい

◎歴史の活用・PR不足

- ・歴史がマニアックすぎて理解が難しい
- ・歴史が深く、話してくれる人がいないと楽しめない
- ・歴史的価値の意識不足

◎ガソリンスタンドの利便性

- ・ガソリンスタンドが19時閉まる
- ・ガソリンの値段が高い

◎目に見てわかりやすい観光地

◎常温のお土産が足りない

◎バスの本数が少ない

◎城下町の文字の景観

◎交通インフラ

- ・アクセスが乏しい
- ・自転車を修理するところがない
- ・宅配がプラス1日
- ・ネットショッピングが対象外

◎言語サービスの不足

- ・言語サービスの提供不足
- ・消費機会の損失、満足度低下の要因
- ・通訳の人員不足

◎オーバーツーリズム

- ・インバウンドに依存しすぎ
- ・オーバーツーリズム（自然に対する価値観、想定外の行動）
- ・インバウンドと国内観光客のバランス

◎海にゴミが多い

◎コンビニがない

◎食料品が島値段

◎経済と買い物のバランス

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

(目指す観光に向けて必要なこと)

交通利便性の向上や対馬ファン拡大に関する意見が多い

◎交通利便性の向上

- ・国内線・船の増便
- ・飛行機・国内の集客
- ・路線バスの本数拡大

◎対馬ファンの拡大

- ・国籍問わず魅力を発信
- ・対馬を好きになってもらう観光
- ・対馬を好きになってくれる人を増やす

◎ゴミゼロ

◎大陸に一番近い国境の島 城下町の磨き上げ

◎活気、人情あふれる島

◎事業者と消費者がwin-win の関係を築く

◎5年後を見据えたガイドライン・ルールづくり

◎ジャングリアと正反対の 本物の自然と歴史と環境の テーマパーク

目指したい対馬観光の姿を実現するための取組み

◎ギネスに挑戦（島民でチャレンジできること）

◎ホームステイ・ファームステイ、交流団体の受け入れ

◎翻訳アプリ

AI技術を活用する＋言葉を学ぶ

◎イベントの充実・呼びかけ

◎雨森芳州の精神

